

国語プリント No. ()

年 組 番 名前

配布日 月 日 曜

文字言語表記トレーニング2（縦書き横書き）

縦書き・横書きに応じて原稿用紙の使い方をトレーニングする。

縦書きと横書きでは記号に関して書く位置が違ってくる。国語便覧を参考にして、整った文章を書ける余蘊使用。

〔手順〕

〔課題〕の表記を加除訂正し、原稿用紙ノートに書き写す。（日付・クラス番名前はいつもの通り。課題番号をページの右上に記入する。）

提出し、チェックしてもらう。

チェック5つ未満で合格。5つ以上で再提出。新たなページに初めから書き直す。

合格できたら次の課題に進む。

次回考査の？点分となります。

〔課題〕

縦書きで次の文章を書くこと。

修正のポイント……メタ・ディスコースを削る。（ ）・「」の形・位置。数字の漢数字化。その他。

四つある。1つ目は「メタディスコース」、二つ目は「裏を読む」、3つ目は「漢字」、4つ目は「返事」である。

1つ目の「メタ・ディスコース」（不要な表現）について説明する。生きていく上で書くということはとても重要なことだと思います。手紙などでものごとを文字として伝えるときに無駄なことを書いてしまったら、「何々だと思う」などは意志の弱い人だと思われるしまう。

〔課題〕

横書きで〔課題〕の文章を書き直すこと。（ノートは横にして使う。）

修正のポイント……前の課題のものに加えて、数字の算用数字化。